

小中学校にエアコンを設置する考えは

エアコン設置に必要な経費、ランニングコストなどを検討している



長神 隆士
自民クラブ

小中学校環境整備の取り組みについて

- 問** 教室内の暑さ対策・寒さ対策はどのように行っているのか。
- 答** 暑さ対策として、全小中学校の普通教室に扇風機を設置している。寒さ対策としては、ウインドブレーカーの着用や重ね着をさせて対応している。
- 問** 学校環境衛生基準が一部改正され、教室の望ましい温度が10度以上30度以下から、17度以上28度以下となった。平成29年度に28度を越えた日、17度を下回った日は何日あったか。
- 答** 学校休業日を除いた197日間のうち、外気温が28度を越えた日は30日、17度を下回った日は85日あった。
- 問** 未来を担う子どもの学習環境を良くするため、小中学校にエアコンを設置する考えは。
- 答** 昨年度、豊川市が中学校にエアコンを設置した。その状況を参考にし、エアコン設置に必要な経費やランニングコストなどを検討している。

観光地域づくりの取り組みについて

- 問** 子どもたちが観光地域づくりの考え方を理解し、地域に愛着を持ってもらうことが必要では。
- 答** 市内の学校に市の職員が出向き、観光まちづくりに関するワークショップなどを行っている。福江高校観光ビジネスコースとは、連携の可能性を調整している。



給付を行うことは必要であるので、今後、要綱の改正に取り組む。

問 福祉有償運送料金助成制度（※）の利用基準を見直す考えは。

答 障害のあるお子さんの場合、市外にある専門的な医療機関に通院することもあり、保護者の金銭的、精神的な負担となる。今後、助成券を利用する障害者の方々の意見を聞きながら、利用基準の検討を進める。

（※）身体障害者など、公共交通機関では通院などのための移動が困難な方が、社会福祉法人などが有償で行う送迎サービスを利用する際の料金を助成する制度。身体障害者には利用助成券が年間48枚交付され、1回の利用につき1枚（上限4300円）使用できる。

